

はたけ ちか すがた み
畑の中の姿、見たことある？

とうきょう元気農場では、毎年、農場見学会の受け入れを行っています。その中で、集出荷場にある「サトイモの毛羽取機」を紹介した時のこと、見学していた子たちはポカ〜とした顔。スーパーで売っているサトイモには毛羽なんてありません。畑の姿は、農家や農業に関わる一部の人しか知らないんだ！と初めて気が付きました。

そこで今回は、そのきっかけになったサトイモの真の姿を紹介します。野菜を作る人たちの大変さが、少し伝わると嬉しいです。

サトイモの全身像 ↓
通常は葉を切り落とした後に掘りあげますが、わかりやすいように葉付きの姿です。



←中央は、種芋から最初に芽が出た親芋といい、親芋から出た芋を子芋、子芋から出た芋を孫芋と呼びます。
家族仲良くつながって栄養を送って大きく育ちます。

↓掘ったばかりのサトイモは、毛羽や根がたくさんついています。



掘り → 根や毛羽を → 洗った
たて 取り除いた芋 里芋

↑毛羽を取ってきれいにする作業を「調整」といいます。



←給食に使う大量のサトイモを全て手作業で調整するのは大変。
そこで、元気農場には毛羽取専門の機械が設置されています。



↑きれいに調整されたサトイモは、重量別選果機(重さごとに分ける機械)で同じ大きさごとに分けられ、きれいに箱詰めして給食に出荷されます。